

令和4年度 八幡小学校 グランドデザイン

学校教育目標 **心ゆたかに たくましく生きる 子ども**

<子どもの願い>
 ・笑顔いっぱい八幡小
 ・友だちの気持ちを大切にできる
 ・みんなでなかよく協力できる
 ・すすんで行動し
 最後までやりとげられる
 ・ルールを守れる

<保護者・地域の願い>
 ・あいさつ・返事のできる子
 ・思いやりのあるやさしい子
 ・粘り強く学ぶ子
 ・自分の考えを伝えられる子
 ・自他を認められる子
 ・ふるさとを大切に、
 誇りに思える子



<合言葉>

つなげる・つながる八幡っ子



目指す子どもの姿

	学 び	つ な が り	こころ・からだ
知識 技能	・基礎基本を確実に習得する子 ・学んだことを使える子	・人やふるさとを大切にする子	・健康なからだところを つくっていく子
思考力 判断力 表現力	・考えを言葉で伝えられる子 ・間違いから学びをステップアップ できる子	・相手の言葉に耳を傾け、受け止める子 ・友だちの発言からつなげて 自分の考えを深められる子	・自分で判断し、適切な行動ができる子
学びに向 かう力・ 人間性等	・ねばり強く学ぶ子 ・友と学びを高め合う子	・いじめや差別をしないやさしい子 ・友だちのよさを見つけ、 友とのかかわりから学ぶ子	・明るく元気で、素直な子 ・「自分っていいな」と思える子

授業改善を続けます

- ・見通しが持て、わくわくする導入の工夫
- ・対話的に考えを深めあう場面づくり
- ・見とどけ・振り返りを5分は確保
- ・ICT機器や一人一台端末の有効な活用
- ・自分の言葉で伝える・まとめる授業
- ・探究的な生活科及び総合的な学習

家庭学習でも学力アップします

- ・授業とリンクしたドリル的なものと、読解力
思考力を育てるものの併用
- ・家庭との連携、家庭へのはたらきかけと
定期的な振り返り

学びの場を工夫します

- ・少人数学習・支援員・ボランティアの配置
- ・認知力・読解力向上への取り組み

仲良しでいじめのない学校をめざします

- ・毎日の気持ちのよいあいさつ・返事
- ・対人スキル向上のためのトレーニング(つな
がりタイム)
- ・友だちのよさやがんばりに気づく・伝える場
面づくり(学級・連学年・児童会)
- ・アンケートや児童との個別懇談の実施

学年を超えてつながります

- ・児童会がリードする縦割り活動
- ・連学年で行う授業や活動
- ・登校班でのあいさつ・かかわり
- ・道徳の授業交換(複数の職員で見ていく)

地域ともつながります

- ・地域の行事の学習への位置づけ
- ・学校支援ボランティアさんとのふれあい作り
(草取りなど、一緒に活動する場の設定)
- ・地域への発信(学校だより・HP)

こころを育てる様々な取り組みをします

- ・かかわりを大切にした道徳の授業
- ・アンケートの活用による学級経営
- ・考えて取り組む無言の清掃
- ・子どもの思いを大切に考え、取り入れる活動
や行事

安全な行動・健康な体を大切にします

- ・考えて行動する力を伸ばす安全教育
- ・安心・安全のためのルールの順守
- ・連学年での体育授業の充実
- ・生活に生きる保健指導・食育

キャリア教育を進めます

- ・自分のよさに気づくため、自分の目標を定
め、振り返る場づくり(キャリアパスポートの
活用)
- ・ふるさと八幡のよさに気づくため、地域と連
携する場の設定

<本年度の重点>

- ・友だちの言葉を受け止め、自分の学びを高める「伝え合い」の
ある授業づくり
- ・互いのよさを認め合う場の工夫と充実・発展
(つながりタイム・連学年授業・縦割り活動・授業交換など)
- ・毎日の、気持ちのよいあいさつ・返事・無言清掃



学校・家庭・地域で子どもを育てましょう

家 庭	子どもとのあいさつ 早寝・早起き・朝ごはん 子どもを認め、ほめて伝える お手伝いや家の仕事の分担 家庭学習・読書のできる環境づくりと学習の把握 テレビ・ゲーム・スマホなどのルールを決めて守る 交通安全(自転車乗りなど)
地 域	子どもたちへの声掛け・あいさつによる見守り 学校支援ボランティア活動 公民館と学校の連携 八幡っ子支援委員会による学校評価と学校運営への意見交換 児童館との連携
学 校	子どもの命・安全を守るとともに、安心して学べる環境作りを目指す。 子どもと一緒に活動して、子どものよさやがんばりを見取り、子どもの声を聴く。 人権感覚を磨き続け、いじめや差別に対するアンテナを高くする。 アイメッセージで伝える、「ありがとう。」で伝える、笑顔で伝える。時に厳しく。 声を掛け合い、チームで取り組む。 自らの授業を振り返り、授業改善を続ける。

時間を守る
整理整頓
業務改善
非違行為をしない